## 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)実績報告書(研究実績報告書)

1. 機 関 番 号	1 4	6 0 3	2. 研究機関名 奈良先端科学	技術大学院大学
3. 研究種目名	若手研究(B	3)	4. 補助事業期間 平成2!	5 年度~平成26年度
5. 課題番号	2 5 8	5 0 0 0 2		
6. 研究課題名	イネ遺伝子	····································	せた次世代育種技術の確立	
7. 研究代表者				
研究者	番号	研究代表者名	所属部局名	職名
3 0 5 7 4	7 0 1	シマタニ ゼンベイ 島谷 善平	バイオサイエンス研究科	研究員
8. 研究分担者	: : :			
研究者	番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局	名 職 名
9. 研究実績の概要	į			
植物育種技術 (NBT コシのDNA型トラン x) とその標的配列 ターに組み込み、 se4xに変型Ac/Dsがク ーゲティグペク/ の標的遺伝子のDNA	)の開発Ac/D DsをLD Pがないした Pが確列として A A D D D D D D D D D D D D D D D D D	める。遺伝子ターゲティングsを利用することとし、合成生sを利用することとし、合成生。次いで、イネゲノムにおけりウム法にてイネカルスへ導かいこのたAcTPase 残さないポジティプマーカー: c/Dsを組み込んだ。このシスで変された後、自律的に改変型	遺伝子ターゲティング法を基に、遺伝法と組み合わせるポジティブマーカー遺物学的手法にて、イネに最適化した改変る機能評価を目的として、改変型Ac/Dsでした。イネカルスにおけるGUSレポータ4xの発現変化を明らかにした。また、PC遺伝子削除機構として利用程が順次進行ドムc/Dsによるポジティブマーカー遺伝子にか、上記システムを利用し、日本型イギをMac/Dsによるポジティブマーカー	伝子削除機構として、トウモロ 変型Ac転移酵素遺伝子(AcTPase4 をGUSレポーターアッセイ用ベク ーの発現を解析した結果、AcTPa iRおよびDNA塩基配列解析により 実証できた。続いて、遺伝子タ し、相同組み換えによりゲノム上質 削除が進行するため、一度の形質
在する耐病性遺伝: 上すると予測される	子0sRacGEF1の	という。このでは、 機能向上を試みた。得られた。 前接種試験等の評価を進める。	改変体は、恒常活性化型OsRacGEF1タン)	で労賃を発現でて耐病性形質が向
10. キーワード <sub>(1)</sub> 次世代植物育	種技術	<sub>(2)</sub> イネ	(3) 遺伝子ターゲティング	(4) 形質転換
(5)		(6)	(7)	(8)
(注)・印刷に	当たっては		 両面印刷すること。	(1/3)

## 11.研究発表

『雑誌論文』 計(1)件 うち査読付論文 計(0)件 (最終年度:	分)							
著 者 名					題			
Tamaki S, Tsuji H, Matsumoto A, Fujita A, Shimatani Z, Terada R, Sakami T, Kurata T, Shimamoto K	oto FT-like proteir	ns induce trans	sposon silencing in the	shoot ape	ex during	floral ind	luction	in rice
		査読の有	無巻		<b></b>	行年		·初と最後の頁
		且的OF			# TE	1 1	45	別に取及の只
Proc Natl Acad Sci USA		無		112			5	E901-910
	ì文のDOI(デジタル	オブジェクト詞	哉別子)					
10.1073/pnas.1417623112								
- 〔学会発表〕 計( 0 )件 うち招待講演 計( 0 )件 (最終年度:	分)							
発 表 者 名			発表	標	夏			
学 会 等 名	発表年	月日		発	表場	所		
〔図書〕計(0)件 (最終年度分)				11. 11	41			
著 者 名				出版	仜			
書名				発行	<b>行年</b>		総ペ	ニージ数
12.研究成果による産業財産権の出願・取得状況								
〔出願〕 計( 0 )件 (最終年度分)								
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類	、番号	出原	額年月1	3	国内・外国の別

〔取得〕計(0)件 (最終年度分)

(-1/(1/3)						
	産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
					出願年月日	1
					山积十万口	

13.備考		